

令和7年度

一般会計歳出 第4款1項3目 12節18細節900000細細節 委託料

受付番号

種目番号

—

連絡先

委託担当
港北区地域振興課
生涯学習支援係

担当者名 志村 正洋
電 話 540-2241

設 計 書

1 委 託 名 横浜市港北スポーツセンターテニスコート防球ネット整備業務委託

2 履 行 場 所 横浜市港北スポーツセンター（港北区大豆戸町518-1）

3 履 行 期 間 ☒期間 契約締結日から令和8年3月31日まで

又 は 期 限 ☐期限 令和 年 月 日まで

4 契 約 区 分 ☒確定契約 ☐概算契約

5 その他特約事項 なし

6 現 場 説 明 ☒ 不要

☐ 要 （ 月 日 時 分 場所 ）

7 委 託 概 要

1. 横浜市港北スポーツセンターテニスコート南側フェンスの手前へ防球ネットの支柱を建柱する。
2. 建柱した両端部支柱間へジョイントビームを設置のうえ防球ネットを取付ける。
3. 支柱下部へは防護マットを設置する。

8 部分払

☐する (回以内)

☐しない

部分払の基準

業務内容	履行予定月	数量	単位	単価	金額

* 単価及び金額は、消費税等相当額を含まない金額。

* 概算数量の場合は、数量及び金額を () で囲む。

委託代金額

内訳

業務価格

.....

消費税及び地方消費税等相当額

.....

内 訳 書

名称	形状寸法等	数 量	単 位	単 価(円)	金 額(円)	摘要
防球ネット整備業務						※設計条件 設計風速34m/s
防球ネット材料費	H6.0m コンクリート支柱	1	式			【内訳1】
基礎・支柱建込み作業	オーガ掘削共	1	式			【内訳2】
ジョイントビーム設置作業	Φ114.3×t4.5	1	式			【内訳3】
防球ネット取付費	W35.81m H4.0m	1	式			【内訳4】
ネットフェンス撤去復旧作業	H3.0m 2スパン材料費含む	1	式			【内訳5】
支柱設置部人工芝撤去復旧作業	既設同等品 t19 1.2×1.2	1	式			【内訳6】
作業用通路整備業務	A＝40m×3.6m	1	式			【内訳7】
【直接業務費計】						A
現場仮設費	カラーコーン、出入口養生等	1	式			B
現場管理費		1	式			C
諸経費		1	式			D
合計						A + B + C + D
消費税及び 地方消費税等相当額						
総計						

内 訳 書

[illegible]

内 訳 書

[illegible]

内 訳 書

[illegible]

内 訳 書

[illegible]

内 訳 書

[illegible]

内 訳 書

[illegible]

内 訳 書

[illegible]

横浜市港北スポーツセンターテニスコート防球ネット整備業務委託 特記仕様書

1 適用範囲

この仕様書は「横浜市港北スポーツセンターテニスコート防球ネット整備業務委託」について適用する。

2 目的

横浜市港北スポーツセンター（以下「スポーツセンター」という。）テニスコート南側フェンス沿いに防球ネットを整備し、隣接地へのテニスボールの飛び出しを防止することを目的とする。

3 履行場所

横浜市港北スポーツセンター（横浜市港北区大豆戸町 518-1）

4 履行期限

契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日（火）まで

5 履行スケジュール

本業務を行うにあたり、資材調達期間を除いた現地での作業着手から検査完了までの期間は、概ね 1 か月程度を想定している。

なお、テニスコートの 1 区画利用中止となる期間については、少なくとも 3 か月前には利用者向けの広報及び周知が必要なため、港北区及びスポーツセンターの施設管理者とは契約後すみやかにスケジュール調整を行うこととする。

なお、現時点の港北区及びスポーツセンターの作業希望期間としては以下に示すとおり。

作業希望期間：令和 8 年 3 月 1 日（日）から同年 3 月 31 日（火）まで

6 業務内容（別添、計画図・写真等参照）

(1) 資材調達

本業務の実施に必要な建材・資材等について、適切な時期に調達調整をすること。

(2) 建材・資材等搬入経路の確保

本業務の実施に必要な建材・資材等のテニスコートへの搬入については、必要な範囲内で既存フェンスの撤去等を行い、作業完了後は復旧を行うこと。

(3) テニスコート内養生作業

本業務の実施に伴い既存のテニスコート（オムニコート）を傷つけぬよう、必要な範囲へ養生を行い保護すること。万が一、資材搬入によりテニスコートに損害を与えた場合は、受託者の責任において現況復旧を行うこと。

(4) 基礎・支柱建込み作業

安全に配慮しながら作業すること。他の 2 面テニスコートは通常使用するため、作業エリアは立入禁止措置等を実施すること。作業後は必要範囲の人工芝について復旧をすること。

(5) ジョイントビーム設置作業及び防球ネット取付作業

安全に配慮しながら作業すること。

(6) 報告書の作成

設計書内訳に示した7項目の「作業前、作業中、作業後」の状況が分かる写真を撮影し、作業内容を補足のうえとりまとめ、報告書としてPDFファイル形式で電子データを提出すること。

7 その他

- (1) 業務の遂行に先立ち、委託者及び施設側と十分に事前調整を重ね、実効的なスケジュールを作成したうえで、作業を開始すること。
- (2) 業務を実施するにあたって知り得た情報を外部に漏らさないこと。
- (3) この仕様書に定めのない事項については、各関連法令等の定めるところによるほか、必要に応じて委託者と受託者で協議して定める。
- (4) 設計条件については以下の表を満たすこととし、作業前に材料の品質規格に関する資料として構造計算書を提出すること。

《検討条件》

物件名	港北スポーツセンター		
設計風速該当地域	神奈川県 横浜市		
設計風速(V ₀)	34	m/s (固定式)	地方により国土交通大臣が定める風速
地表面粗度区分	Ⅲ		
ポール地上高(H)	6.25	m	
基礎根入れ深さ(t)	1.75	m	
ポールのスパン(S)	10.00	m (ビームありS)	
	10.00	m (ビームなしS)	

《ネット条件》

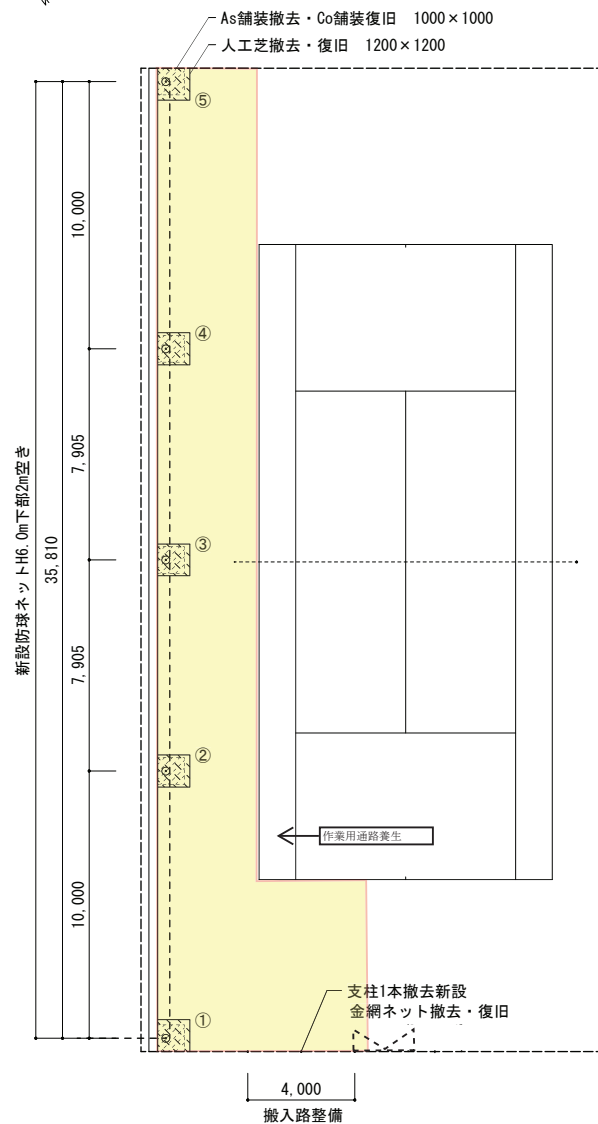
防球ネット①仕様				
H _t (m)	H _u (m)	糸径(mm)	網目(mm)	充実率
6.00	2.00	1.60	40.00	0.080

《ポール品種》

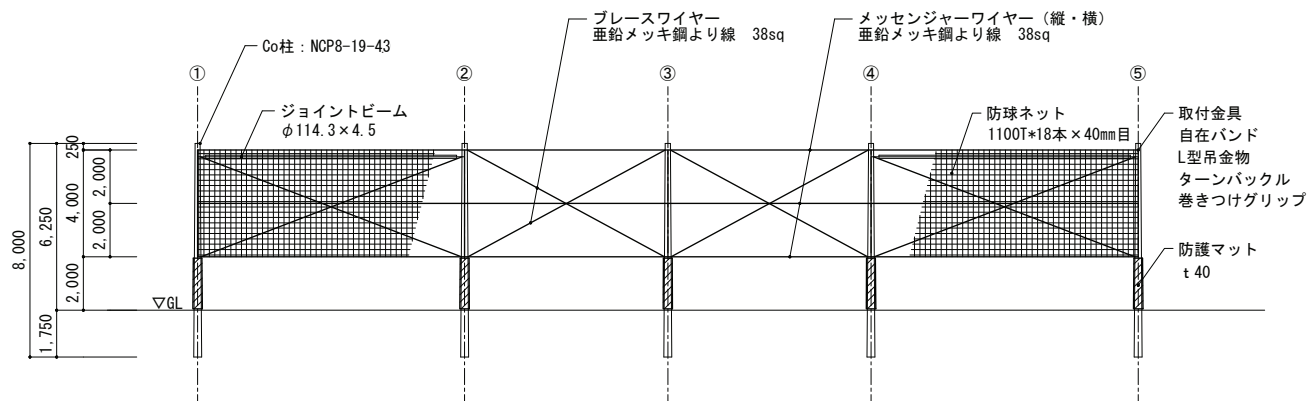
日本コンクリート工業	全長(m)	末口径(c m)	設計荷重(kg)	破壊曲げモーメントM _u (k N・m)
(NC ポール)	8	19	430	50.6

《安全率》

ポールの破壊に対する安全率 (2.0 以上)



防球ネット計画平面図 S=1/200



防球ネット詳細図 S=1/200

